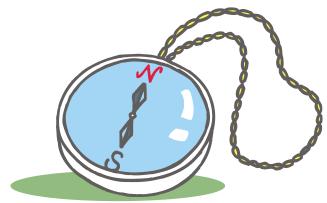


# 羅針盤



第 32 号 令和5年(2023年)1月30日(月)

## ◆ インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン

生徒の皆さん、「インフォームド・コンセント」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「インフォームド・コンセント」とは、「医師と患者との十分な情報を得たうえでの合意」のことを意味しています。つまり、医師が患者の病気や容態について、わかりやすく言うと患者さんの体の中でどのようなことが起こっているのかといったことや、検査方法や治療の方法、処方される薬などについて理解されるように十分な説明を行って、患者さん自身も内容をよく理解し、納得したうえで治療をすすめていくということです。医療行為を受ける前に、患者が持つ疑問点を解消し、医療方針を決定するうえでは全ての医療行為について必要な手続きであると位置づけられています。医師が、ただ単に病状を告げて、同意書をとるといったようなことを防ぐためにも、現在では広く周知されるようになってきました。インフォームド・コンセントにおいては、患者やその家族が医療機関から説明された内容を十分に理解や納得ができない、あるいは、医療機関が十分に患者やその家族の意思決定する権利を尊重できていないと感じた場合などには、セカンドオピニオンといった選択肢があることも、自分自身の「命」を守るために、あるいは、大切な家族の「命」を守るために欠かせない方法となってきています。医療機関から示された情報が正確なものであるかどうか、十分な話し合いを積み重ねたとしても、「別の医療機関から話を聞いてみたい」といったようなことも十分に考えられます。診断方法や治療方針などについて、現在診療を受けている医療機関の医師とは違う医療機関の医師に求める「第2の意見」をセカンドオピニオンと言います。治療方針を別の角度からも検討したいときや、提示された治療方針以外にも治療をすすめる選択肢がないかといったこと、あるいは、診断された内容について別の医師からも意見を聞いたうえで治療方針を決めたいなど、患者とその家族の不安を少しでも取り除き、納得したうえで治療をすすめていくためには有効な方法の一つであると考えられています。時と場合にはありますが、かけがえのない大切な「命」を守りぬくためには、誰にとっても必要な方法であると思わずにはいられません。



## ◆ 12分の1が終了となります

明日で早くも、この1年間の12か月のうちの1か月が終了となります。今年の年頭に掲げた目標の実現に向け、計画したとおりに順調に為すべきことが進んでいるでしょうか。計画はたてたものの、実行することができないままに時間が過ぎ去ってしまっている人もいるのではないでしょうか。あるいは、目標を決めかねていたりすることで、計画をたてることもなく時間が過ぎ去ってしまった人もいるのではないかでしょうか。与えられている時間は誰もが等しいけれど、時間の使い方には違いがあると思います。少しでも有意義な時間を過ごせるよう、有効的な時間の活用を考え、過ごしてもらいたいと思います。

